

《8月 葉月》

日頃お世話になっている人に感謝する「八朔」

旧暦の8月1日を八月朔日,略して「八朔」と言います。この頃には,全国各地の神社で,五穀豊穡を祈願する八朔祭りが行われます。江戸時代初期から民間行事として盛んに行われるようになりました。この時期は,稲の早稲が熟す頃であり「田の実の節句」とも言います。田の実をお供えするという意味と稲穂の豊穡を祈願するという2つの意味があり,古くから節句のひとつと数えられてきました。農家では早稲の穂を貴人や恩人に贈る風習が武家や公家にも広がり,「田の実」(たのみ)を「頼み」にかけて日頃のお世話になっている人に,感謝をこめて贈り物をするようになりました。例えば京都の祇園では,8月1日に芸妓や舞妓がお茶屋や芸事の師匠宅にあいさつに回るのが現在も伝統行事として残っています。

この日は,天正十八年(1590)に徳川家康が江戸城に入った日に当たります。これを記念して始まったのが,五穀豊穡・天下泰平を祈る奉納相撲で,幕府からは領民の体育を奨励するため水引幕が献納されました。



盆棚を飾る
仏壇の前に小机を置き位牌を出しなすやきゅうりの牛馬,花菓物を供える。



迎え火を焚く
13日の夕方祖霊が迷わず帰って来るように玄関先に目印として焚く



盆踊り
祖霊を迎えたことを喜び供養し彼岸に送るための風習 自分の災厄も祓う

8月13日～8月15日

お盆

正式名称は(盂蘭盆会 うらぼんえ)といい仏事行事に由来する。先祖の霊を迎え入れてともに過ごす習慣

木材利用ポイントが始まりました。

最高60万円の補助金
また薪ストーブ等を購入すると最高さらに10万円



中島建設は,広島県と岡山県にエントリーしています。

《人生のイベント》 満1歳～13歳

